

平成 27 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 メ イ コ ー
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 名 屋 佑 一 郎
 (コード番号 : 6 7 8 7 J A S D A Q)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 本 部 長 石 渡 仁
 T E L 0 4 6 7 - 7 6 - 6 0 0 1

業績予想の修正及び役員報酬の減額及び一部返上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 11 月 4 日に公表いたしました平成 27 年 3 月期の業績予想を下記のとおり修正するとともに、業績予想の修正をうけて経営責任を明確にするため役員報酬の減額及び監査役報酬の一部返上を実施することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

- (1) 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	88,000	600	1,030	270	10.32
今 回 予 想 (B)	89,000	△3,100	50	△1,500	△57.31
増 減 額 (B-A)	1,000	△3,700	△980	△1,770	
増 減 率 (%)	1.1	—	△95.1	—	
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 26 年 3 月 期)	79,231	922	1,931	23	1.11

(2) 修正の理由

売上高につきましては、市場が好調な車載向け及び海外スマートフォン向けを中心に販売は堅調に推移しており、為替の円安による影響もあり、金額ベースでは前回予想を上回る見込みです。

営業利益につきましては、第 2 四半期までに計上した損失の挽回を目指して、受注品における層構成の適正化や歩留まりの改善、人員の適正配置による固定費の削減や生産性の改善、材料コストや物流費用の削減等に全社を挙げた取組みを推進しており、各々の施策は徐々に効果が上がってきておりますが、歩留りの改善においては想定以上の時間を要しており未だ改善の途上であります。その影響により変動費や人件費の削減が計画どおり進捗しなかったことや、為替の影響による輸入コストの増加等が見込まれることにより前回予想に対して 37 億円未達の 31 億円の赤字の見込みです。

経常利益につきましては、為替が円安に推移した事により当社グループが保有する外貨建

債権債務の期末為替レートによる評価替えで発生する為替差益による営業外収益を見込んでおりますが、営業利益の悪化により前回予想に対して9億80百万円未達の50百万円の見込みです。

当期純利益につきましても、経常利益の悪化および法人税等の支払いの増加により、前回予想に対して17億70百万円未達の15億円の赤字の見込みです。

以上の理由により、通期連結業績予想を上表のとおり修正いたします。

2. 役員報酬の減額及び監査役報酬の一部返上について

平成27年3月期の通期連結業績予想の大幅下方修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり、各取締役及び執行役員の実績に応じた役員報酬の減額、及び監査役の申し入れによる監査役報酬の一部返上を実施いたします。

(1) 報酬（月額）減額及び一部返上の内容

- | | | |
|-------|-------|--------|
| ・取締役 | 報酬月額の | 15～10% |
| ・監査役 | 報酬月額の | 7% |
| ・執行役員 | 報酬月額の | 5% |

(2) 対象期間

平成26年11月より平成27年3月までの5ヶ月間

以上

<業績予想に関する注意事項>

この資料に記載されております業績予想の数値につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績は、今後様々な要因により、この資料に記載されている業績の予想数値と異なる可能性があります。